

あしす
ふっしんく

Vo 1.1

巻頭言 NC準備委員長 細川 開

つい最近一人暮らしを始めた。TVは観られず、お金がかかるので新聞は取らず、ネットも家では出来ない。今まであった情報源がなくなってしまったのだ。すると世の中で起こっていることが結構わからない。野球が始まった！と思ったのに…まあそれはいいとして（でも結構知りたい情報なんだけど）、ニュースは学校に行ってネットや新聞を読んでとか人から聞いて知るようになった。なのでちょっと時間差があったりする。

4月下旬に兵庫県で大きな脱線事故があったことは皆さんもよく知っていると思う。かなり大きな事故で連日ニュースのトップで出ていたそう。上に述べたように家で情報を得ることの出来ない私はちょっと遅れてそのことを知った、ラジオで。その時はどれだけ大きなことだったか気が付かず、「ふ～ん（口癖）危ないな」という位にしか思わなかった。

翌日、学校のネットでそのニュースがどんなもんなのか読もうと思い、その記事を探したら超が付くほどの量と内容に驚いた。

「運転士同士が口裏合わせ」「死者50名を越す」「マンションの住民が避難」とまあ色々。写真も見てすごい事故なのはわかるんだけどよくわからない、アナウンサーに説明してもらいたいと正直思った。

その日、KGKで祈祷会がありその事故のことを覚えて祈った。そういえば学生も事故に巻き込まれていた、なんて記事もあったな。実はその時初めてその事故のことについて祈り、また気が付いたことがあった。それは事件後すぐに祈らなかった自分がいたこと。そして自分と同じ学生がいた、ということにもすぐに真剣に祈れない自分がいたこと。

私たちは見たり聞いたりすれば相手と同じ気持ちになれるのか。身近ならなるのか。「なれる」と言われたらそれまでだが、私はそうでないし同じ人はいると思う。知っていてもそこで終わることも出来るし、気付いても見ぬふりも出来るのだ。

「喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい」

ローマ12章15節

気付くことは誰にでも出来ることである。その後どうするか。私たちキリスト者だけが出来ることは愛と哀れみに満ちている唯一の神に祈ることが出来るのである。TVのアナウンサーはこう言っている「ご遺族のご冥福を祈ります」。一体誰に祈るのだろうか、と思ってしまう。

私たちは「ふ～ん」で終わるような者であっていいのか。

NC2006テーマ

Notice～他人から隣人へ～

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。ローマ12：15

.....

どうも、NC2006 広報誌『あいすぶれいく』をご覧のみなさんこんにちは、NC 準備委員の細川開といいます。気になる日程や参加費はチェックしましたか？「この時期なら行けそうだ」「参加費高いしょ」など色々あると思います。まあ色々気になることはあると思いますけど、テーマ見ましたか？テーマがよくわからんと思いのの方もさぞいると思います。まあちょっとここでテーマについて話したいなど。

NC2006 のテーマは「Notice」あ、“ノーティス”ですよ。でもなんか意味深な感じがしますよね、これ。なんで「I」も大文字なんだ？みたいな。実はこれ、二つの意味が込められています。一つは“気がつく”ということ。英語のそのままの意味ですね。もう一つは“Not Ice”、氷ではない、冷たくないという意味です。

あまり大きく前面には出てきていませんが、全国協議委員会が沖縄と韓国のことを学んだ冊子『問い続けるために - キリスト者として他者の痛み苦しみを考える - 』という冊子（J's 別冊）をご存知でしょうか。（知らない人は地



Hiraku Hosokawa

大学：東京経済大学 4年
趣味：ギター、UKロック

四国の血を引く両親を持ち、なぜか札幌生まれ（10年間）育ちは東京（12年間）余分に1年間学校に行くことになってNCに行けることになりました。NCで会えるのを楽しみにしていますんで、ぜひ来てください。待ってまーす。

痛み苦しんでいる人に気がつく

冷たい心が溶かされる、砕かれる

区の役員などに聞いてみましょう）そこには「私たちの周りでは知っているようで知らないこと、また気がつかないことが沢山あることに気がついた」とあります。

しばしば「愛する」の反対の意味に当たる言葉として「無関心」が挙げられます。私たちは、自分たちが「無関心」であるということにさえ気づいていないのではないのでしょうか。そんな私たちは隣人を愛する第一のステップとして、「気づくこと」が必要だと感じています。

NC2006 を通して私たちの周囲（それは距離的に近くもあり遠くもあるかもしれませんが）で痛み苦しんでいる人に気がついて（Notice）欲しいのです。人の痛み・喜びを自分のものとして「いっしょに喜び、いっしょに泣く」、その人の隣人になることを共に目指していきたいと願っています。そのように変えられていく過程、またその結果の中に、私たちの冷たい心が溶かされる、砕かれる（Not Ice）ということがあるのです。

「隣人になる」というキリスト者の能動的な姿勢は、他者の痛み、苦しみに気づかされ、その砕かれた心から生まれてくるのだと思います。NC2006 を通して、“Notice” する、“Not Ice” になる、参加者がこのようになっていくことをNC 準備委員は願っています。

What's NC? ~06NCを待ち望む~

NC (National Conference) とは・・・?

3年に一度行われる全国集会。キリスト者学生の献身と成長、
学内伝道を目的とした集まりであるKIGKの活動の一つ。

全国集会とは全国の各地区から学生が集まって、顔と顔を合わせてなされる全国的
交わりです。1967年に東京で初めての全国集会がもたれ、その後は1973年から3
年ごとに行われており、次回で13回目を迎えようとしています。近年は一年半以上
もかけて準備が進められ、毎回多くの学生が様々な恵みを持ち帰っています。

『キリストのからだ～その広さ、長さ、高さ、深さ～』というテーマで開催された
前回のNCでは、全国のクリスチャン学生や海外からのゲストなど400名を超える
学生が参加し、キリストのからだを建てあげるということ、戦争責任ということ
について共に考え、それぞれが今遣わされている場について励まし合うときを持ち
ました。



人数は多かったけど、知り合いになれたのは、グループの仲間だけ。ハイキ
ングやゲームみたいなお楽しみ企画があんまりなかったような…集会の席が
となりだったのに、それっきりのアノ人・・・おまけに37,000円は高い！！

なんで、わざわざ全国・・・??

私が03NCで得た恵みの一つは、「自分を知り、相手を知る」ということだっ
た。03NCをとおして、自分の世界が広がった。メッセージ、グループタイム、
分科会はもちろんのこと、地区紹介タイムや海外ゲストとの交わりetc…それ
は全国だからこそできる、広い視点で主の働きを知り、クリスチャン学生の使
命について考えるときだった。

自分が遣わされている地がどこなのか…そして、日本全国に学内伝道に重荷
を持つ仲間がいて、そこで主に取り扱われているということ…自分の知らない、
見えないところで、確実に働かされている主に感動するひとときとなった、
NC。

NCを通して、自分を知り、自分の遣わされている場所を知る。

NCを通して、福音に生きる仲間が、日本全国で主に用いられていることを知
る。同じ信仰を告白する私たちが、顔と顔を合わせ、キリストにある交わりを
する3年に一度の機会。

それぞれの置かれている場所は違う。9地区の課題も違う。けれど、同じ救
い主が、昨日も今日もこれからも、変わらない愛と恵みを持って、私たちを励
まし、力を与え続けていることを知れる、3年に一度のNC。私たちは全国から
集められ、お互いを感謝し、主の働きを喜びあい、そして日本のために祈る。

『他人から隣人へ』…それまで無関心だった他人に目を向け、その痛みや喜
びを分け合う時に、私たちは、キリストのからだとして、共にキリストの教会
を建てあげていくことに重荷を持つ。

日本全国から400人もが集まる4泊5日…規模が大きいだけに、も
ちろんリスクも伴う。でも、全国だからこそその恵みもまた大きい。

なんで全国集会なのか? NCまでの一年、ゆっくりそのことを考えたい。そ
してひとりひとりの参加が、まわりの祝福となり、日本全国で主の栄光が現さ
れることを願いつつ、NCを待ち望みたい。(原田純子)

全国 KGGK 紹介

全国のみなさん、こんにちは☆ ところでみなさんは、何地区のメンバーですか？ え・・・地区?? そうです、KGGKは、全国にあるんですよ☆ そして、ナント9地区（北海道、東北、関東、北陸、東海、関西、中四国、九州、沖縄）が同じKGGKスピリットに立って活動しています。ふだんは、なかなか関わることのない、全国の仲間と会えるのが、NC!ここで、全国のKGGKを少しだけ紹介します！

北 北海道地区は、1961年の東北地区との合同夏期学校の翌年、北海道大のクラーク研究会がつくられました。地区としての設立は1977年、そして現在は、17名の会員が与えられています！広くて、なかなか地区全体で顔を合わせることが難しいですが、落ち着いていて、アットホームで、何でも話し合えるステキな集まりです☆



東 北6県+(なぜか)新潟県の7県で構成される、ひろびろのんびり東北地区♪地区の活動としては約50年の歴史があり、現在会員は19人。成実朝子主事のサポートを受け、約19のキャンパスで活動をしています！みんな、体内時計は遅れ気味(?)で笑顔がとってもステキ！NC中に疲れた時は東北人を探して憩ってください^^)

数 学の時間です。次の空欄に不等号を入れてください。

関東地方 () 首都圏 () 関東地区

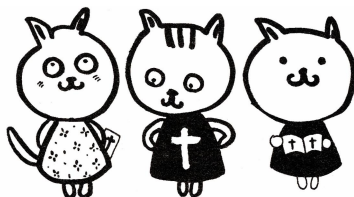
余談ですが・・・関東地区は現在会員数が102名で、非会員の人も含めると約300名。1960年に関東地区キリスト者学生会が設立で、これは全国に先立つ。というわけで答え→ (＜) (＜) でした。

解説：関東地方＝茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京、神奈川
首都圏＝関東地方＋山梨県 関東地区＝首都圏＋長野県



万 博で熱い東海地区は会員15名。『Shine on Campus!～キリスト者としての自覚と責任～』をテーマに遣わされていきます。86年に誕生し、NC開催の06年に20周年を迎えます！毎週地区活動として大須祈禱会で学びをし、ミラクルという機関紙を使ってお祈りしています。マツタリしたあったかさが自慢☆

Let's pray
for each other!!



こんにちは。中四国は中国5県四国4県の広範囲にわたる地区です。現在は吉澤恵一郎さんとカレンさんの2人の日本人主事が立てられています。中四国の雰囲気は、はっきり言って「真面目」です。そう関西の主事に言われました。どう受け止めていいものか…海の幸あり山の幸あり温泉ありの中四国に来たらえんじゃけん。



九州地区は温暖な気候のなか、元気に活動しています。今現在15人の会員が与えられ、広い九州(十下関)にちらばって神様の栄光を輝かせようと奮闘中です。矢野主事が広い九州を一人で巡回してくださり、月例会などサポートをしてくださっています。最近、地区単位の活動から学内活動の道が開かれています。

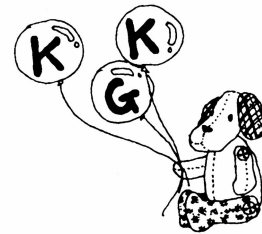


どうも～沖縄地区です。沖縄は2004年に設立されました(1歳1ヶ月)。現在、会員は6名です。少ない…と思うかもしれませんが、小さな県(地区)にとってはKGKに重荷を覚える学生が6名もいるなんてスゴイことかもしれません。もちろん、他にもたくさん学生はいますよ～。全部で10名前後います。

北陸地区は富山県、石川県、福井県から成り2002年の春に地区成立しました。しかし、1960年代から東海地区とコンタクトがあり、1976年には第一回夏期学校が開催されました。現在県別祈禱会が月1～2回もたれ、学内では7校が聖研や祈禱会をもっています。会員は12名と少ないですが、地区の活動には開催県以外の学生は勿論卒業生をはじめとした社会人が参加して支えてくれています。

地区の設立は1962年5月、現在の会員数は37名、活動校数は33です。関西地区は3ブロックあり、『学びの京滋・癒しの兵庫・笑い(交わり)の阪奈和』という違ったカラーをもっています。各ブロックで毎週祈禱会があり、祈りと学びのときをもっています。特に同期会の交わりが盛んですが、大学やブロックをこえ、みんな仲良しです!!!

Summer School Information



北海道	未定
東北	8月23日～26日
関東	8月16日～19日(夏期学校)
	8月23日～27日(CSC)
東海	8月30日～9月2日
北陸	8月22日～25日
関西	8月17日～20日(パート1)
	8月23日～26日(パート2)
中四国	8月の四週目
九州	8月23日～26日
沖縄	9月中

* CSCはChristian Summer Campの略称です。



National Conference 2006

●テーマ：*Notice*～他人から隣人へ～

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。

ローマ12章15節

●日 時：2006年3月6日(月)～10日(金)

●場 所：愛知県旭高原少年自然の家

●対 象：クリスチャン学生（受洗・未受洗問わず）

●定 員：420名

●参加費：37,000円（各地区からの交通費込み・全国一律パック料金）

申し込み開始：2005年6月1日 締め切り：2005年11月11日

※2005年7月7日までに申し込んでくださった方には、もれなくNC
グッズをプレゼントいたします☆

※詳しくは申込書をご覧ください。

●公式HP: <http://church.ne.jp/nc2006/>

◆講師紹介◆

まきた よしかず

牧田 吉和 師（聖書講解）

日本キリスト改革派教会・神戸改革派神学校校長。

1944年生まれ。岐阜県出身。名古屋工業大学卒業。神戸改革派神学校卒業。改革派東山台教会で牧師。ヴッパータール神学大学・ボン大学神学部にて研究。カンペン改革派神学大学大学院卒業。帰国後、改革派名古屋教会牧師を経て、1987年から神戸改革派神学校校長となる。趣味は、映画鑑賞、温泉、サッカー観戦など。著作等『改革派信仰とは何か』ほか。

ごとう としお

後藤 敏夫 師（主題講演）

日本福音キリスト教会連合・キリスト教朝顔教会牧師。

1949年生まれ。高校生の時にイエス・キリストを信じる。聖書神学舎卒。麻溝台キリスト教会（相模原市）牧師、大韓イエス教東京福音教会協力牧師を経て、1993年、朝顔教会牧師となる。趣味は、古いクラシックと古いジャズと古いゴスペル。3人の男の子の父親。著書『終末を生きる神の民』、訳書『イエスの御名で』など。

東日本地区 準備委員

〈北海道地区〉 資料保存：石原 直美（いしはら なおみ）

〈東北地区〉 東日本会計：栗田 義人（くりた よしと）

〈関東地区〉 準備委員長：細川 開（ほそかわ ひらく）

〈東海地区〉 東日本書記：新井 智也（あらい ともなり）

担当主事

吉澤 慎也（よしざわ しんや）・成美 朝子（なるみ ともこ）

関東地区 常任委員

広 報：水口 恵子（みずぐち けいこ）

渉 外：鈴木 慰生（すずき やすお）

名 簿：赤城 聖子（あかぎ せいこ）

会 計：百武 真由美（ひゃくたけ まゆみ）

書 記：松尾 献（まつおけん）

全協代表：田中 秀亮（たなか ひであき）

準備状況と祈祷課題

みなさんいつもNCのためのお祈り感謝です。最近NC準備委員は海外ゲストについて話し合っています。また申込書の申し込み方法やHPに掲載する内容、広報誌についてなどを日々メールリストや関東の常任委員の会議で話し合っています。下に最近の祈祷課題を載せるので、これを覚えてNC準備のために祈っていただくと感謝です。

(NC準備委員会)

①海外ゲストが主の導きの中に決まるように。

②NC準備委員(常任委員と東日本委員)が一つとなって準備をしていけるように。

③NC準備地区に与えられている奉仕が守られるように。

あいすぶれいくって?

みなさんご存知の通り、06NCのテーマはNoticeですよね。これに掛けて、本広報誌のタイトルを『あいすぶれいく』と名付けました。あいすぶれいく(IceBreak)の意味は“氷を壊す”“打ち解ける”という意味です。NCってなに?どんなことをするの?どんな意味があるの?などみなさんが疑問に思っていることにお答えしていくとともに、普段あまり知ることのできない各地区のことをお伝えすることによってNCについての理解を深め、NCとみなさん、そして各地区同士のへだたりをなくしていく。そんな広報誌になればという願いを込めて付けました。

NC前のちょっとした、あいすぶれいく。みなさんの心が打ち解ける読み物になればと思います☆

・僕の好きな かき氷の味は こころ味!!
そう、こころの氷。Let's Ice break!
高木です。真悟です。(高木真悟)

編集委員のつぶやき

・全国のみなさんとNCでお会いすることを
楽しみにしつつ★★(原田純子)

・最近のNotice。ものごとをおぼろげに覚えていることを
“うるおほえ”ではなく“うろおほえ”という!(片山ゆずり)

・前回のNCは自分にとって大きな転機でした。
こうして準備に関わっているのがちょっと不思議。
つぎは東海狙ってみます。(吉村安彦)

・編集委員会とNC委員会の
かけ橋です。がんばります(^_^)
(水口恵子)

あいすぶれいく vol.1

2005年5月発行
キリスト者学生会

広報誌編集委員

原田 純子 高木 真悟
吉村 安彦 片山 ゆずり
水口 恵子 (NC広報担当)

A photograph of a paved walkway in a schoolyard. In the background, there is a white building with a green roof and some trees. The foreground shows long shadows of people walking on the pavement, cast from the left. The shadows are dark and clearly defined against the lighter pavement.

NOICE

2006

アイスブレイク、
しませんか？

神様との時間とれてますか？
人のために祈ってますか？
最近きちんと休んでますか？
気づくことから始めようNC2006